写真に関する注意事項

鳥取県交流推進課

×がついているものはお撮り直しをお願いする可能性が極めて高いものです。

・サイズ：上記の「正しい写真の例」のご確認をお願いします。

×	顔の寸法が大きい／小さい	
×	どちらかの方向に顔が寄りすぎている	
△	顔が傾いている	
×	頭髪のボリュームが大きいことで、顔のサイズが小さくなっている	髪の毛は全部映す必要はないので、顔のサイズが規格に合うようにしてください

・背景：白色を推奨（それ以外の色でも可能）

◎	単色（グレー、青等）でグラデーションなし	白髪の方は背景と髪の色が一体化して境界が不明瞭にならないようにしてください。
△	グラデーション	
×	影	
×	壁の模様	

・輪郭：アクセサリーやご自身の髪の毛などで輪郭が隠れないようにしてください。

◎	輪郭がはっきりしている	
×	髪が顔の輪郭を隠している	
×	照明が強く、輪郭が欠けて見える	
×	大型のピアス、イヤリング、髪飾り	外して写真を撮ってください。
×	パーカーなどのフード	脱いで写真を撮ってください。
△	タートルネック	輪郭を隠す可能性があるので推奨しません

・口元：口をつぐまず、自然な口元がベストです。

×	微笑んで口角があがっている	
△	口が開いて歯が見えている	不自然でなければよいです

・目：最も重要です。目元がはっきりしている必要があります。

×	目元の濃い化粧	
×	カラーコンタクト	出入国審査で疑義を持たれることがあります
△	デファインレンズ	出入国審査で質問を受ける可能性があります
×	前髪が目にかかっていたり、目元に影ができて暗い	

×	髪の影が目にかかっている	
○	照明が瞳（黒目）の中に映っている	問題ありません
×	照明が瞳（黒目）にかかり、欠けたようになっている	黒目が欠けたものはお撮り直しになります

・**眼鏡**：可能な限り外して写真をお取りください。レンズの反射などでお撮り直しをお願いせざるをえないことがあります。参考：他国では眼鏡を外しての写真を取り扱う傾向となっています。

×	光が反射し、目元が不明瞭	
×	レンズで屈折している	度の強い眼鏡の方は要注意です。
×	色付きレンズの眼鏡着用	健康上の理由の場合、診断書をお願いすることがあります
×	フレームが目にかかっている	
×	フレームが太く、顔の輪郭を覆っていたり、目を隠している	

・**写真自体**：ご自宅で撮影した写真でも規格に合っていれば受付できますが、寸法や光の当たり方など、ご注意ください。専門の写真店での撮影を推奨しています。

△	写真表面の傷、汚れ	過度でなければ受付できることがあります
×	インクのにじみ	
×	画像の乱れ（ピンボケ、手ぶれ）	
×	赤目	
×	画像修正 （オプション機能使用は不可）	肌を白くしたり、健康的な色にしたりする調整は一切使用しないでください
×	照明が強く、鼻など顔の凹凸が不鮮明	

・**乳幼児の写真**：座れない場合、無地淡色のシーツの上に寝かせて真上から撮影した写真でも問題ありません。詳しくはお問い合わせください。

×	補助者の身体が写り込んでいる	
×	目を閉じている	

できるだけ専門の写真店での撮影をおすすめしています。